

LIFE in

Minamiuonuma city life style Magazine.

南魚沼だから
できること。

There are things you can do
because it is minamiuonuma city.

vol.16
2022/ Spring

新潟県南魚沼市ブランド化促進
ライフスタイルマガジン



www.life-in.jp

vol.16
2022/ Spring





雪国の恵あふれる南魚沼

厳かで美しい

厳しくもあたたかく

銭淵公園の桜

LIFE in

Minamiuonuma city life style Magazine.

南魚沼だから
できること。

There are things you can do
because it is minamiuonuma City.

vol.16
2022 / Spring

新潟県南魚沼市で
地域資源や特産品など雪国の魅力を
活かし活躍する人々を紹介する
南魚沼市ブランド化促進ライフスタイルマガジン
『LIFE in 〜ライフイン〜』

CONTENTS

- 04 ここでしかできない働き方がある
西村 由貴子さん
- 12 special event report
南魚沼ナイトマーケット
- 16 南魚沼で新たな事業に挑戦
富岡 暁浩さん 渡邊 功さん
- 20 読者アンケート
- 21 南魚沼市概要・歳時記
- 22 これから南魚沼市への定住を考えている方へ
南魚沼市の取組み

www.life-in.jp





西村 由貴子さん

Yukiko Nishimura / 36歳

SQREEM Japan 合同会社

京都市出身。大学卒業後、首都圏で製薬会社等に勤務。令和3年に南魚沼市に移住し、現在はリモートワークを実践している。

クオリティ・オブ・ライフを求めて

コロナ禍の影響により、リモートワークの導入が社会的に進み、働く場所を問わない働き方が広がっている。住環境や暮らし方、ライフスタイルを優先した生活を求める働く世代が増え、首都圏の喧騒を離れた地方での暮らしにも関心が高まっている。

国としても令和3年に都市部への過度な人口集中解消や地域活性化の観点から、関係機関が連携し、テレワークの普及と促進に努めている。

仕事をしながら趣味も充実させることができれば、人生がより色鮮やかなものになるということなのだろう。働き方改革の中では、クオリティ・オブ・ライフ（生活の質を向上し人生の充実を図るもの）を求める生き方への関心も高まっており、こうした中で地方での生活とクオリティ・オブ・ライフを求めた移住者は南魚沼にも多くいる。

西村由貴子さんは令和3年に生活の拠点を南魚沼に移した。しかし、転職はせずに移住前と同様、首都圏にある

自分の情熱をビジネスへ

会社に在籍し、現在はリモートワークを実践している。趣味であるスノーボードを思いっきり楽しめる環境が南魚沼にあったことが移住の一番のきっかけだったと語る西村さん。西村さんにとって南魚沼での生活はここではないと暮らしたくなっているようだ。

大学卒業後には「人の役に立つ何かをしたい」という思いから医薬品業界に就職。その際に、日本の経営形態が世界でどこまで通用するのか疑問に感じ、自身のスキルアップのためにMBA（経営修士）を取得することにした。オンラインで履修が可能という利点から、Bond-BT Global Leadership MBA（日本と世界の他の国々との交流を専門とする経営学修士が取得できるプログラム）に入学しMBAを修了。

現在はSQREEM Japan 合同会社でプロジェクトマネージメントディレクター兼ブランドマネージャーとし

コロナ禍がもたらした新しい働き方

で、戦略立案、コミュニケーションにおけるクライアントの課題解決などを行っている。「世の中にイノベーションを起こすような面白いことができる」と感じ、今の会社に勤めています。クライアントに満足いただけたときにやりがいを感じますね。」と西村さんは語る。



Introduction
of the life style
2022
Spring

ここでしかできない
暮らし方がある



コロナ禍の影響を受け、勤務先がリモートワークを導入したことがきっかけとなり、令和3年7月に南魚沼に移住した西村由貴子さん。リモートで仕事をしつつ趣味であるスノーボードを楽しんでいる。今回は西村さんに雪国南魚沼ならではの「ここにしかない暮らし方」を伺った。

どうしても スノーボードができるところで

コロナ禍を機に会社がりモートワークを導入した。本社は神奈川県にあり、現在、社員は全員リモートワークをしている。打合せなどで東京へ出張することもあるが、ほとんどの仕事をリモートでこなすことができる。

京都市出身の西村さんは大学を卒業し、初めて首都圏に住んだ時、都会の人混みや密集した住宅の感じが自分には合わないと感じたという。仕事の関係で一度東京を離れたが、再度東京に戻ってきたときも同じように感じた。

コロナ禍を機にリモートワークが広く導入され、仕事をする環境を選ぶことができるようになったとき、移住を考えるきっかけとなったのはそんな都会での生活に対する違和感だった。ではなぜ西村さんは移住先に南魚沼を選んだのだろうか。

西村さんが初めて南魚沼市に訪れたのは令和2年の冬。「どうしてもスノーボードができる所でリモートワークをしたいと思って、スキー場があることが前提で移住先を探し始めました。南

魚沼に決めたのは、スキー場がたくさんあってどのスキー場も20〜30分程で行けること、仕事で東京に行くのもそれほど遠くないという利点があったからです。あとスノーボードを通じて南魚沼で知り合った方々と仲良くなり、南魚沼に移住することを勧められたのも大きなきっかけでした。」

やるうと思ったなら行動に移す。翌年の令和3年7月には南魚沼市へ移住した。冬期間は毎朝スキー場でスノーボードを楽しみ、午後から自宅や六日町駅前のアトモスカフェ、ケロハウスなどのカフェで仕事をする生活だ。

「リモートワークだと自分の裁量で時間や仕事量をコントロールできるの、私には向いています。オフィスワークよりも今のスタイルのほうが、私には合っていますね。」と西村さん。

「お昼には切り上げて午後から仕事をするには、あと何本滑れるか、時間を考えながら滑っています。ついつい楽しみすぎて片付けの時間が取れなくなってしまう、結局バタバタと仕事に

向かうこともあります。仕事に支障が出ないように楽しんでいます。」

市内には八海山スキー場をはじめ10か所のスキー場があり、六日町駅を基点として20〜30分程度で行ける。ファミリー層からエキスパートまで楽しめるスキー場があるほか、石打丸山スキー場には、世界最大級のハーフパイプ「ガンホー・モンスタースタイル」(高さ6.7m・幅22m・長さ170m)が設置されている。その日の気分で多種多彩なスキー場が楽しめるというのも、南魚沼ならではの魅力だろう。

その中でも、西村さんは八海山スキー場と舞子スノーリゾートによく足を運ぶという。「毎朝登る八海山スキー場のロープウェイからの景色が最高です。」と嬉しそうに教えてくれた。

「スノーボードのシーズンが終わると、グリーンシーズンは登山に行きます。今年は八海山と越後駒ヶ岳を登頂するのが目標です。登頂できた達成感が好きで、もっとチャレンジしたくなりますね。」

舞子スノーリゾート

冬はスキー・スノーボード、夏はオートキャンプ・BBQ・ディスクゴルフ・グラウンドゴルフなどのアクティビティを楽しむことができる。



- 〒949-6423
新潟県南魚沼市舞子 2056-108
- TEL / 025-783-4100





ケロハウス

落ち着ける場所、クセになる場所をコンセプトに営業しているカフェ。コーヒーの他、手作りのシフォンケーキが人気。

- 〒949-6680 新潟県南魚沼市六日町 91-6 2F
- TEL / 025-772-7472
- 営業時間 / 11:00 ~ 18:00
- 定休日 / 土・日曜日



うことだ。西村さんも移住に際しては、家で仕事ができる環境をしっかりと整えるべきと感じたようだ。

南魚沼においてもこの課題に着目し、「Life in (vol.4)」で紹介したレンタルオフィス OFFICE 5b1 のようなワーキングスペースが続々とオープンしている。

令和4年4月1日には、六日町駅内に「南魚沼市事業創発拠点」がオープンし、コワーキングスペース、イベントスペースとして市内外の人が利用できるようになった。自然が感じられる木組みの内装で、開放的な雰囲気の仕事をするができる。社会的な需要に応えるべく、南魚沼でも少しずつリモートワークを受け入れる環境が整いつつある。

首都圏からの移住で気になるのが利便性の問題だ。「六日町駅周辺に住んでいれば、普段の買い物は徒歩圏内ですし、自転車で行ける範囲内にスーパーや飲食店もあるので、不便さは感じたことはありません。南魚沼でどうしても手に入らないものはネットショッピングを利用すればすぐに手に入りますし、買い物には全く困っていないですね。」と西村さん。

南魚沼での買い物はほとんど徒歩で行くという西村さんにとって買い物のための散歩も楽しみの一つだ。外に出れば新鮮な空気があり、静かで穏やかな時間が流れている南魚沼ならではのリフレッシュ方法だろう。地方暮らしでは、車を所持することや運転免許の取得が必須というイメージを持つ人もいると思うが、必ずしも持たなくても居住場所を選べば生活ができることを、西村さんは教えてくれた。

課題となるのは、仕事しやすい環境整備が首都圏ほど進んでいないとい

南魚沼に住むということ

アトモスカフェ

カレー、オムライス等のカフェメニューから、雑穀米のとろろご飯といった体に優しいランチまで取り揃える六日町駅前のお洒落なカフェ。

- 〒949-6680 新潟県南魚沼市六日町 124-2 青木ビル 2F
- TEL / 025-770-0709
- 営業時間 / 11:00 ~ 19:00
- 定休日 / 火曜日

人生を見直す一助になっているのかもしれない。西村さんは、「せっかくリモートワークをするのなら」と趣味を思いっきり楽しめる環境を選択し、南魚沼で『自分の好き』を求めた生活を送っている。

大切なのは「やってみよう」という気持ち。南魚沼市では雪国ならではのウィンタースポーツのほか、キャンプやスケートボードを楽しめる施設も充実していて、趣味を楽しむ要素はいくらでも揃っている。

自分の人生を彩るために、西村さんのようにまずは「やってみよう」ということが大切なのではないだろうか。

今後の夢や展望

最後に今後の目標を伺った。「一つは自分で事業を起こすことです。具体的な内容はこれからですが、5年以内には実現したいと考えています。2つ目は、私と同じように趣味と仕事を両立し、南魚沼で楽しく生活する人を増やすことです。自分がこういう生活をしていると、周りの人から『すごいね』とか『そんなのできるんだ』といわれることも多いですが、やってみたら意外と誰でもできるんじゃないかなと思います。このライフスタイルを実践してみたいという気持ちがある人にはチャレンジしてもらい、新しい生活スタイルとして広めていきたいですね。」と西村さんは語る。

スノーボードにも仕事にも情熱を注ぎ、毎日を楽しむ西村さんの姿は、恐らく誰から見ても羨むほどキラキラしたものに映るだろう。

コロナ禍をきっかけに普及したりリモートワークという働き方が、自分の

My Lunch 私のお昼ご飯

大好きなカレーを求めて



「カレーが好きで、メニューにあると目にとまりますね。このカレーはトマトとひよこ豆の形が残っていて歯ごたえもよく、健康的な感じがするので気に入っています。ちょうど良い辛さで食べ応えもあり、雑穀米を使用しているので女性には嬉しいですね。」アトモスカフェはリモートワークのためによく利用するという。この日は南魚沼で知り合った移住の先輩と情報交換をしながら、大好きなカレーを食べて仕事に向け気分を上げていた。



LIFEin

Minamiuonuma city life style Magazine.

Happiness by
living in
Minamiuonuma.

Minamiuonuma city Night Market
2021 winter

ナイトマーケット

南魚沼
2021
冬季

2021年12月22日(水)から26日(日)の5日間、南魚沼市の塩沢中央公園と隣接する体育館で南魚沼ナイトマーケット冬季が開催されました。このイベントはLIFE in (Vol.15) で紹介したWAYS 木村真悟さんが主宰する複合出店イベントで、屋外ではキッチンカーが、屋内ではクリスマスに関連した雑貨やアクセサリを扱うお店など市内外から約35店舗の移動販売店舗が出店しました。メリーゴーラウンドなどの特設遊具や大きなクリスマスツリーが設置され、子どもも楽しめるような賑やかな雰囲気のなかで、来場者は幻想的な光の空間を楽しんでいました。



出店者

木村 顕悟さん・我田 智也さん

大阪で食べたもつ焼きが美味しくて、アレンジして自分も販売したいと思い、移動販売を始めました。南魚沼ナイトマーケット夏季と比べて会場が広いですね。外にもオブジェがあるととても盛り上がりますよね。



来場者

田村 亜友美さん・ひよりさん

まだ雪が少ない時期ですが、屋外で雪もあり冬のイベントらしい雰囲気ですね。アクセサリを買ったりキッチンカーのフードを堪能したり、とても楽しめました。



子どもたちに人気のメリーゴーラウンドはSNS映え間違いなし。



来場者

林 亜沙美さん・愛陽さん・奏龍さん

SNSからイベントのことを知りました。大きなクリスマスツリーやメリーゴーラウンドは子供が楽しめるので嬉しいです。出展されているアクセサリもかわいいですね。



出店者

牛腸 総一さん・牛腸 智美さん

日中開催のイベントが多い中で、夜のイベントが珍しく興味が惹かれました。夜に賑わいがあると町も活気づいていいですね。夜の雰囲気のなかで出店できるのは有り難いです。加茂市でも店舗を持っていますが、お客さんを待っているだけではだめだと思い、移動販売を始めました。



出店者

増田 美音さん・徳永 歩佳さん

主催者の木村さんから声をかけてもらい、今回出展しました。自分たちが身に着けられるビーズアクセサリが欲しくて、移動販売を始めました。出展してみて、お客さんだけではなく、出展者同士の新しいつながりの輪が広がったと感じています。

笑顔が溢れる 南魚沼ナイトマーケット



屋内ではアクセサリや雑貨の販売のほか、大きなクリスマスツリーが飾られた幻想的な雰囲気の中、映画の上映が行われていました。



屋外では多くのキッチンカーが出店し、賑わっていました。



サンタさんと一緒に記念撮影ができるサンタクロースの家。とても人気で長蛇の列ができていました。



来場者

八木 克弥さん・昭子さん・奏太さん・みなみさん

SNS、ポスターでイベントを知りました。南魚沼ナイトマーケット夏季にも行きました。夜は寒かったけど、メリーゴーラウンドもあり楽しかったです。サンタさんに会えて嬉しかったです。開催期間が長く訪れやすいですね。



1 塗装について熱く語る富岡さん。 2 新潟県内初となる海外塗料。背景はこの塗料での仕上がりサンプル。 3 多くの海外塗料が並ぶ。 4 実際のレンガを使わずに、塗装の技術だけでレンガの経年変化を表現した自社工場。 5 日々新しい知識や技術を学び、研究している。 6 手際良く作業を進める富岡さん。 7 コンクリートのように仕上がるモールテックスという材料で木製のテーブルをリメイク。モールテックスを得意とし、市内でデザインコンクリート MPC を施工できるのは富岡さんだけ。



DON BOU color works 代表
富岡 暁浩 さん Akihiro Tomioka / 42歳

南魚沼市出身。関東圏での建築塗装業を経て、Uターン。
現在は DONBOU color works を営み、南魚沼市の塗装業の盛り上がりを目指している。



南魚沼で 新たな事業に挑戦

南魚沼市では令和2年度より南魚沼市チャレンジ支援事業補助金を開始しました。この事業は、南魚沼出身である（株）アルプス技研創業者最高顧問の松井利夫さんからの寄付による人材育成及びリゾートオフィス・田園都市構想松井基金を活用したイノベーション人材育成事業です。令和2年度は5つの新事業が採択されました。今回はこの補助金を活用し、新たな事業にチャレンジする2名の採択者を紹介します。

塗装の知識と技術普及にチャレンジ

DONBOU color works を営む富岡暁浩さん。
DIY志向の高まりによる塗装の需要増加のため、塗装の知識と技術の普及を目指しています。

「南魚沼で塗装事業を始めたきっかけ、経緯を教えてください。」

富岡 暁浩さん（以下敬称略）これまで県外や市内の建設塗装店に勤めてきたなかで、塗装業界を盛り上げていく為には塗料・塗装についての社会的認知度を高めていくことが必要だと考えていました。

DIY志向の高まりで塗装をやってみたいけど、何をどのように扱っているのか分からない人は多いです。しかし、市内には、塗料や塗装についての幅広い知識や技術を直接提案するサービスや、技術を取り扱う企業がなかったため、自分で新しい事業を生み出そうと起業しました。

この事業で、塗料の知識や現物を確認する場である塗料ファクトリーの開設と、適切な塗料や工程を提案、解説する塗装ソムリエの育成を目指します。

「この事業でのやりがいは何ですか？」

富岡 施工のゴールとして正解や完成がなく、お客様のイメージしている世界観に感覚で近づけていくところです。

無数にある配色の可能性や効果を活かしながら何パターンも見本を作り、お客様と二人三脚でイメージに近づけていきます。

完成後には喜びを共感できることもやりがいです。同じものが作れないので、毎回新しい発見があり、施工毎にスキルアップを実感しています。好奇心や探求心を常に持ち、お客様と共に発見していく姿勢を大切にしています。

「南魚沼市チャレンジ支援事業補助金をどのように活用しましたか？」

富岡 補助金の活用により、憧れの1つだった海外塗料「ヘイムスペイント」の正規代理店となり、新潟県内で初めて販売・施工までを取り扱えるようになりました。また、補助金に採択されたことがきっかけとなり、市内で活躍する他の事業主の方や基金を提供していただいている松井様からも様々なアドバイスをいただけてとてもありがたいです。

「今後の目標を教えてください。」

富岡 誰もがDIYやセルフリノベーションができる社会にするため、塗装ファクトリーと塗装ソムリエを展開していきます。お客様と専門家の橋渡し役を担ったり、自分たちが使いやすいかった商品などを紹介したりと、塗装を身近なものに感じてもらいたいです。時間を重ねた建物やお気に入りの物、生活空間などを自分の手で新しく生まれ変わらせるという体験を通して、人も物もいつからでも生まれ変われるということに気づきかけられれば嬉しいですね。

今後は、オープンファクトリーとしてモノづくりをお客様に体験してもらう場を展開し、観光スポットとして認知してもらおうのが目標です。

また、若い方々にも塗装技術や専門知識を習得してもらいたいので、随時スタッフを募集しています。現在20代の女性スタッフも活躍していますので、お気軽にお問合せください。



1 様々な工程を経てオリジナルボードが出来上がる。 2 セパレートになるバックカントリー用のスノーボード。スキーの様に履いて雪山に登ることができる。 3 オリジナルロゴ。 4 特注で製作したエッジを加工するための専用工具。 5.6 専用工具を使い卓越した技術で作業を進める渡邊さん。 7 工場にはヴィンテージを含め多くのスノーボードが飾られている。 8 オリジナルボードの魅力について語る渡邊さん。

—— 今後の目標を教えてください。

渡邊 現在は私の自宅の一部を工場として使用していますが、将来的には本格的な製造工場を設置し、南魚沼初のスキー・スノーボードメーカーを目指したいです。

またスキー・スノーボードの製造をツアー化し、宿泊してもらうとともに、実際に自分で作った板でスキー場を滑ってもらうという流れをつくることで、観光で南魚沼を訪れる人を増やしていきたいです。

小さいころにスキー板を作り、南魚沼にきた子どもたちが、大人になって自分の子どもを連れてきてくれるようになるのが夢ですね。

—— この事業の魅力は？

渡邊 自分の好きな板を一から作れるという魅力がありますし、実際に滑ってみて、すぐに改良ができるという利点があります。世界に1本しかないというプレミア感を感じてもらいたいですし、その板で滑れるという楽しさをぜひ知ってほしいです。

そもそもウィンタースポーツは自然の力を借りないとできません。この板は南魚沼地域の間伐材を有効活用して製造するので、南魚沼ブランドを醸成できるほか、環境負荷を低減できる効果も期待できるので、大切な自然にも恩返しができると思っています。



一般社団法人 南魚沼シティマーケティング 渡邊 功さん Isao Watanabe / 46歳

南魚沼市出身で、元プロスノーボーダー。現在、南魚沼市でオリジナルスキー・スノーボードを用いたクラフトツーリズムにチャレンジしている。



CASE 02

南魚沼産のオリジナルスキー・スノーボードで クラフトツーリズムにチャレンジ

一般社団法人 南魚沼シティマーケティングの渡邊功さん、腰越一秋さん、小林幹雄さん、武宮敬介さんは地元木材を利用したスキー・スノーボードの製造工場設立によるクラフトツーリズムで、地域ブランド醸成と地域経済の循環にチャレンジしています。

—— 事業を始めたきっかけは？

渡邊 功さん以下数穂町長年プロスノーボーダーとして様々なボードで滑ってききましたが、販売されているボードではなく、自分の思い通りに作ったボードで滑れたら最高だなと思っていました。周りの仲間も同じような考えを持っていて、すぐに意気投合し、準備期間を経て令和3年6月からこの事業を始めました。

まずは既にスキー、スノーボードの製造を行っている群馬県や北海道の工場を視察し、ノウハウを教わりました。北米では、地域の木材を使った板の製造工場を運営する地域ビジネスがあり、これをスキー観光が盛んな南魚沼に持ち込み、製造と観光を連携したクラフトツーリズムを展開することで、南魚沼らしい地域経済循環の体系ができるのではないかと考えています。

—— 事業を行う上で難しい点はどこですか？

渡邊 板作りでは材料となる木材が気温によって変化し、思った通りに曲がってくれないといった難しさがあります。そのため今回の南魚沼市チャレンジャー支援事業補助金を活用して技術を持つ専門家をお招きし、研究を行い、徐々に製造する板の品質を上げてきています。今後も先進地の視察などを積極的にに行い、技術習得に励みたいと思います。

また、広報活動が難しいと感じていますが、今後は自分たちが行っている事業を効果的に発信し、より多くのスキーヤー、スノーボーダーに自分で板を作る魅力を訴求していきたいと考えています。



The geography of minamiuonuma city

南魚沼市について

【特徴】

南魚沼市は新潟県南部の魚沼盆地に位置し、太平洋と日本海を結ぶ交通の要衝となっています。関越自動車道や上越新幹線などの交通アクセスは大変便利で、交通および物流の中継地としての役割を果たしています。グリーン・シーズンには日本百名山「巻機山」や霊峰「八海山」などの登山客、冬季には、スキー場が集積する一大スノー・リゾート地として多くの観光客が訪れています。教育機関としては国際大学、北里大学保健衛生専門学院が立地されています。平成27年6月に開院した「魚沼基幹病院」を中心に、地域医療の高度化が進んでいるほか、保健・医療・福祉・子育て支援も充実しています。

【面積】584.55km²

東京23区(621km²)の約94%にあたる広さです。

【人口】54,374人

※令和4年4月末現在(住民基本台帳人口)

【年間平均気温】南魚沼市 11.9℃ (8月 25.5℃ / 2月 -0.9℃)

東京 16.3℃ (8月 26.4℃ / 2月 5.7℃)

大阪 16.9℃ (8月 28.8℃ / 2月 6.3℃)

【位置】北緯 36度53分 - 37度12分

東経 138度45分 - 139度05分

【保育・教育機関】保育園・認定こども園:27 / 小学校:17 (令和4年度より16)

中学校:4 / 総合支援学校:1 / 高等学校:4

専門学校:1 / 大学院大学:1



歳時記

Compendium of seasonal words

春

浦佐毘沙門堂裸押合大祭 (3月第1土曜日)
※2020年から日程変更となりました。
日本三大奇祭の一つ。約1200年の歴史があり、国の重要無形民俗文化財に指定されています。

夏

南魚沼市兼続公祭り (7月17日～19日)
大前神社 翁式三番 (8月14日)
平安時代の三番猿楽の古い形を残す民俗芸能として全国的にも珍しく、県の文化財に指定されています。

秋

若宮八幡宮太々神楽 (9月14日・15日)
32の神楽面を使って総数26座の神楽を奉納する市の指定文化財です。
八海山大火渡祭 (10月20日)

冬

南魚沼市雪まつり (2月第2土曜日・日曜日)
しおざわ雪譜まつり (2月第3土曜日)
and more...

主要交通アクセス

関越自動車道

大和スマートIC ※ETC車専用
・東京練馬IC間 198.3km(約2時間20分)
・新潟西IC間 99km(約1時間5分)
・車長12m(大型車)まで

六日町IC

・東京練馬IC間 187km(約2時間10分)
・新潟西IC間 111km(約1時間15分)
＜高速バス停留所:東京池袋間 約3時間17分＞

塩沢石打IC

・東京練馬IC間 175.5km(約2時間)
・新潟西IC間 122km(約1時間25分)

上越新幹線

浦佐駅
・東京駅から 約1時間30分
・新潟駅から 約40分

越後湯沢駅

・東京駅から 約1時間15分
・新潟駅から 約45分

上越線

石打駅
大沢駅
上越国際スキー場前駅
塩沢駅
六日町駅
五日町駅
浦佐駅
八色駅

ほくほく線

魚沼丘陵駅
六日町駅



下記QRコードよりアンケートフォームにアクセスし、ご回答ください。



締切 7月31日(日)23時55分

※当選者の発表は景品の発送をもってかえさせていただきます。

■『LIFE in ～ライフイン～』についてのお問合わせ

〒949-6696 新潟県南魚沼市六日町180-1 / 南魚沼市役所 総務部U&Iときめき課 / TEL.025-773-6659

これから南魚沼市への
定住を考えている方へ

南魚沼市の取組み

お問い合わせ

南魚沼市役所 総務部U&Iときめき課 TEL.025-773-6659
南魚沼市公式ウェブサイト <https://www.city.minamiuonuma.niigata.jp>
全国移住ナビ <https://www.iju-navi.soumu.go.jp/>

住む 地域の資源を活かして

【わくわく地方生活実現政策パッケージ】

- 南魚沼市にU・Iターンし、次の条件のいずれにも当てはまる方に、1世帯100万円(単身者60万円)を補助。
 - ①東京23区内に在住または東京23区内に在勤で東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県に在住の方(5年以上)。
 - ②新潟県が指定する企業(原則、県内企業)に就職、または起業する方。
※他にも細かい条件がありますので、ご相談ください。

【南魚沼市移住希望者交通費補助金】

- 県外在住で南魚沼市への移住を希望する方が、南魚沼市が行う現地体験ツアーに参加する場合、南魚沼市までの移動にかかる交通費を補助。
- 上限補助金額1万円。

【南魚沼市空き家バンク制度】

- <http://www.minamiuonuma-city.jp/akiya/>
- 市内に使用していない住宅を所有している人から提供された空き家の情報をウェブサイトで公表し、市内での暮らしを希望する人に紹介するシステムです。

【U・Iターン促進住宅支援事業補助金】

- 県外からの転入で、県内企業などに就業した方へ、賃貸住宅家賃と契約初期費用を補助。●月額家賃の1/2を補助。上限補助金額1万円。

【みんな住マイル住宅改修補助金】

- 住宅等のリフォームで50万以上の支出があった場合、10万円(子育て世帯:中学生以下の子どもがいる世帯は15万円)を補助。

【南魚沼の木で家づくり事業補助】

- 住宅建築時の南魚沼産木材購入費を補助。
- 購入費の1/3を補助。補助額10万円以上が対象で、上限補助金額50万円。

【南魚沼市中古住宅リフォーム補助金】

- 中古住宅を購入し、贈与で取得し、500万円以上のリフォーム工事を市内業者に発注して行った方に対し、最大100万円補助。
※上記の他に補助要件あり。

働く 起業や働く環境づくりを応援

就農

【農業次世代人材投資事業(経営開始型)】 (旧青年就農給付金)

- 原則50歳未満の新規就農者に年間150万円/人を補助。 ●最長5年間。

【農業農村体験】

- 「グリーン・ツーリズム推進協議会」を設置し、農業体験旅行を実施しています。田植え、溪流川遊び、秋の収穫、雪国体験などを通して四季折々の南魚沼を体験できます。

起業

【南魚沼市チャレンジ支援事業】

- 南魚沼市で新たなビジネスにチャレンジする個人・法人に対し、国内外の先進地視察等に必要経費を補助。
- 上限補助金額100万円

【創業支援補助金】

- 対象者:市内で新たに創業を行う方。
- 創業事業費の1/2を補助。上限100万円。

【創業支援セミナー】

- 対象者:市内で創業を希望している方、または創業後まもない方。
- 創業に関する基礎知識を無料で学べるセミナーです。

【個別創業相談】

- 対象者:市内で創業を希望している方、または創業後まもない方。
- 創業の悩みに専門家が無料で相談に応じます。

【介護人材確保緊急5か年事業(新規)】

【新規・移住定住就職支援金】

- 対象者:市内に住所を有し、市内の介護サービス事業所に介護職員として就職し、継続して1年以上の勤務が見込まれる方。

【カムバック支援金】

- 対象者:市内の介護サービス事業所に介護職員として就職し、継続して1年以上の勤務が見込まれ、就職した日前3か月以内に魚沼圏域の介護施設に在籍していない方。
- 対象資格:介護支援専門員、介護福祉士、看護師、准看護師のいずれかの資格を有する方。または介護福祉士実務者研修もしくは介護職員初任者研修の課程を修了している方。

【ケアマネエール支援金】

- 対象者:市内の居宅介護支援事業所に過去1年以上継続して勤務している介護支援専門員。

【ケアマネスタートお祝い金】

- 対象者:令和3年10月予定の「介護支援専門員実務研修受講試験」に合格後、同年度内に開催される「介護支援専門員実務研修」を受講、修了し「介護支援専門員証」の交付を受け、交付の日から3か月以内に市内の居宅介護支援事業所に就職し、居宅介護支援業務を行う方。

共通事項 ●支援金:20万円 ※詳細についてはお問合せください。

育てる

親子のふれあい・保育

【出生お祝い金】

- 南魚沼市に誕生した子どもに出生のお祝い金を支給。詳細についてはお問合せください。
- 補助金額:1人目、12万円・2人目、15万円・3人以降、20万円
※令和3年度から5年間限定の事業です。

【ほのぼの広場】

- 0歳から小学校入学前の親子が自由に遊んだり、情報交換ができる場です。市内3会場で開設しています。
・子育ての駅「ほのぼの」:(水曜定休) 開設時間 9時30分～15時30分
※子育ての駅「ほのぼの」と併設されている「ふれ愛広場」は小学校3年生までが利用可能です。
・大和市民センター会場:開設日 毎週 月・水・木 9時30分～15時30分
・塩沢市民センター会場:開設日 毎週 火・水・金 9時30分～15時30分

【にこにこ広場】

- 入園前のお子さんとお家の方を対象にした、保育園で行う遊びの広場。どの地域の保育園の「にこにこ広場」にも参加できます。

【心豊かな子育て教室「そだち学級」「親子サロン」】

- 入園前の親子の遊びの場、仲間作りの場。
- 六日町地域の4地区、大和地域、塩沢地域でそれぞれ年間3回から4回開催。

【ファミリーサポートセンター】

- 子育ての手助けをして欲しい人に保育サービスを提供する会員制の保育事業です。
※生後6か月から12歳までの子どもが対象です。

【読書のつどい、絵本のへやなど】

- 入園前の乳幼児と保護者を対象に、毎週水曜日(10時30分～11時30分)、南魚沼市図書館で絵本の読み聞かせなどを開催しています。

【待機児童ゼロの維持】

- 保育園の待機児童0人を続け、希望するすべての子どもへ保育を実践しています。

街づくり 変わった視点でまちづくり

【南魚沼きりざいDE愛隊】 <https://kirizaidon.com/>

- 南魚沼地方に昔から伝わる郷土料理「きりざい」を基にしたご当地グルメ「南魚沼きりざい丼」を通じて、地域全体の魅力を伝えています。

【南魚沼、本気丼】 <https://majidon.jp/>

- 南魚沼産コシヒカリを、市内外の人にお腹いっぱい味わってほしいという企画です。南魚沼市内の飲食店を中心とし、ごはんと具をそれぞれの尺度で大盛にしたイチオシ丼ぶりを提供しています。

【女子力観光プロモーションチーム】 <http://joshi-ryoku.jp>

- 女性の視点から全く新しい切り口で南魚沼市の観光を考え、イベント企画や観光関連事業への提案を行うことを目的とした、年齢も職業も様々な一般ボランティアで結成されたチームです。

【美女旅プロジェクト】 <https://www.bijotabi.jp>

- 地元に住み、地元を愛する普通の女の子が生まれ育った地元を紹介する観光パンフレット。

【南魚沼サークルナビ サークる♪】 <https://ja-jp.facebook.com/circle.minamiuonuma/>

- 市内で活動するサークルから参加・登録してもらい、SNSでの活動紹介や入会募集などを支援し、入会したい人のニーズに応えたり、サークル同士の横のつながりを生み出し、市内に住む若者の定住を促進しています。

【南魚沼市移住推進協議会・移住者ネットワーク】 TEL:080-5453-9956 Eメール:mu.ijunet@gmail.com <https://www.minamiuonuma-iju.com/>

- 南魚沼市にU・I・Jターン者を中心に民間で組織された団体で、研修や交流会を通じ移住しやすい環境の整備と移住者の相談、ケア、フォローアップを行える組織構築を目的にした活動に取り組んでいます。
・定期的イベントや交流会を開催します。 ・移住推進協議会の取り組みやイベントなどの情報をメールでお知らせします。 ・移住についての相談や支援を行います。

【一般社団法人 愛 南魚沼みらい塾】 Eメール:ai.m.mirai@gmail.com

- 街のあらゆる場所を「教室」にして、南魚沼市全体を「まなび」の場に見立てることによって、街のヒト・モノ・コト・トキ・エンをつなげていく。そして「教える」こと「教わる」ことが、大人、子供に関係なく自由に行き来できる、いわば、新しい南魚沼版「共育」をコンセプトにした一般社団法人です。常に新しい「何か」の出会いをつくり、「何か」をはじめようとする“すべての人たち”の「場(=プラットフォーム)」となる活動をしています。

支え 縁 民間で組織された安心の移住・定住相談体制を整えています。

【一般社団法人 南魚沼市まちづくり推進機構】 TEL:025-778-0511

- Eメール:ijyu.teijyu@mmdo-machi.org <http://mmdo-machi.org/>
- 若者の定住とシニアや若者の移住を目指して付加価値の高い仕事が南魚沼市から生まれることを促進する地域再生推進法人です。南魚沼に住む人、住もうと思う人の、未来のしごとづくりと豊かな暮らしを応援します。